

学校の教育目標 (全日制)

令和2年度「高等学校における教育指導の重点」と本校の三綱領に則り、「確かな学力の育成」、「健全な心身の育成」を柱に人権尊重の精神を根底におき、校長を中心とした指導体制を強化し、学校と家庭・地域社会の連携のもとに、全職員一体となり、伝統を重んじ創造力と活力あふれる学校づくりを目指し、次に掲げる教育目標の達成に努める。

◇教育目標 次の10年へ 率先垂範・更なる挑戦 ～積極的な思考力・行動力を持つ人材の育成～

- 1 心豊かで、礼節を身に付け、志高く自主自律の精神で活力に溢れ、国際化が進む社会に貢献できる有為な人材を育成する。
- 2 進路実現に向けて自分の可能性に挑戦し、自己実現を図る人材を育成する。
- 3 ものづくり教育の充実や学校行事、部活動の活性化を図るとともに、将来において心身ともに健康で、社会人・職業人として自立し共生する人材を育成する。

◇具体的取組

令和2年度県立学校における教育指導の重点のもと「認め、ほめ、励まし、伸ばす」教育行動指標を根幹に、学育、心育、体育を基本とし、「敬愛・努力・感動」を合言葉に、各項目を本年度の具体的取組とする。

1 基礎・基本の充実・定着

- ・自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決していく資質や能力、すなわち「生きる力」の育成に努める。
- ・分かる授業、生徒が意欲的に取り組む授業のための指導方法・教材等の工夫・改善に努める。
- ・朝読書をとおして、知性や感性を豊かにするとともに、集中力を高め、落ち着いた学習に取り組む姿勢を身に付けさせる。

2 工業教育の充実

- ・専門高校の特色を生かした資格取得を奨励し、計画的な指導の実施及び産業界に貢献できる人材の育成に努める。
- ・ものづくり教育をとおして、困難な課題や問題に果敢に挑み、自らその解決に試行錯誤を繰り返して努力し、乗り越えていくことで、自立心や創造力を培うことができる人づくり教育に努める。
- ・SPH（スーパープロフェッショナルハイスクール）の取組において、産学官との連携・協働による災害に強い人材循環型学校・まちづくりを推進できるエンジニアの育成を目指す。

3 基礎的生活習慣の確立

- ・5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を推進し、落ち着いて学業に専念できる環境の整備に努める。
- ・規範意識を向上させ、社会人として自立し、共生する人格の育成に努める。
- ・2・A運動の徹底に努める。「当（A）たり前のことを、当（A）たり前に」「安（A）全で、愛（A）校心を育む環境に」

4 キャリア教育の振興・推進

- ・キャリア教育を意識した進路指導の充実と進路保障に努める。
- ・進学・公務員及び企業への進路保障に必要な組織的な受験対策と、その支援に努める。
- ・勤労体験や奉仕活動をとおして、職業観や奉仕の精神の育成に努めるとともに、コミュニケーション能力を身に付けた生徒の育成に努める。

5 部活動の活性化

- ・スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に努める。
- ・文化部及び体育部活動の活性化により、健全で充実した学校生活の支援に努める。
- ・文武両道を推進し、知（確かな学力）、徳（豊かな心）、体（健康な体）のバランスの取れた生きる力を育む。
- ・それぞれの個性・能力を持った生徒が目標達成のために団結し、心をつなげて挑戦するなかで、充実感・達成感を味わい、体力はもとより忍耐力・精神力を養う。

6 人権教育の推進

- ・人権尊重の精神のもと、全教育活動をとおして「心に届き」「心を揺り動かし」「心を豊かに」する心の教育に努める。
- ・教育の根幹に人権教育を据え、生徒にしっかりと寄り添い、生徒一人一人を大切にした教育に努める。
- ・思いやりの心を育て、挨拶を交わし、明るく活気のある学校づくりに努める。

7 グローバル化に対応した教育の推進

- ・英語教育の充実をはじめ、国際理解教育や国際的な職業への関心を喚起する取組を推進し、国際的な産業競争力の向上や国際間のきずなの強化等のグローバルな舞台で積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図る。
- ・郷土に誇りを持ち、自然や文化・伝統を大切にする心を育み、グローバル社会に対応できる技術革新、情報収集できる能力の育成に努める。
- ・朝の英会話放送をとおして、英語の聴解力や読解力を高めるとともに、集中力を高め、落ち着いた学習に取り組む姿勢を身に付けさせる。